

# 自民党 県会報告 第194号

**6月県議会 定例会** 会期 6月23日(火)～7月8日(水)

## 新たな感染拡大防止と経済と雇用の回復に全力を尽くす

6月定例会は新型コロナウイルス感染防止対策として、演壇に飛沫を防ぐアクリル製のついたての設置や、座席の間隔を空けて着席するなどの対策を講じたうえで、6月23日から7月8日までの16日間の日程で開会され令和2年度一般会計補正予算や、県政当面の重要な案件について審議し、条例や意見書など34件を可決いたしました。



自民党議員会からは、代表質問1名、一般質問4名が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策や復興と地方創生の取組についていただきました。一般会計補正予算の主な内容については以下の通りです。

**令和2年度一般会計補正予算 335億900万円**

【主な内容】

■ **新型コロナウイルス感染症対策(324億430万円)** 詳しくはこちら→

■ **令和元年東日本台風で被災した河川の改修事業(5億6,100万円)**

浸水被害が発生した河川において、河道掘削等を実施し河積の拡大を行うことにより災害の防止を図る

### 自民党議員会が提出し可決した意見書

- 特定復興再生拠点区域外の避難指示解除について、地元自治体の意見と取組を最大限に尊重し、丁寧に協議を進めるとともに、避難指示解除のための具体的な方針を早急に示し、地元の実情を考慮した帰還困難区域の復興・再生を求める意見書
- 国際社会と連携し、北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決に全力で取り組み、全拉致被害者の即時一括帰国を実現することを求める意見書
- 一国に過度に依存しないサプライチェーンの見直しにより新たな供給網を確立させ、日本企業を国内に回帰させる取組の促進を求める意見書
- 当県の畜産農家が安心して事業経営を継続できる制度の確立を求める意見書

### 代表質問(令和2年6月26日)



自民党議員会を代表して、総務会長の西山尚利議員(福島市選出)が登壇し、代表質問を行いました。

Q 今後の復興・再生に必要な予算の財源の確保について

A 内堀知事

令和3年度以降5年間における復興需要を現時点で1.1兆円程度と見込み、必要な額の確保と、今後生じる新たな課題等についても、国が最後まで前面に立って福島復興に責任を果たすようしっかりと求めていく。

Q 外出自粛の閉塞感等に伴う児童虐待防止にどう取り組むか

A こども未来局長

子どもの状況把握や支援を行う職員を児童相談所や市町村へ新たに配置し、県、市町村、学校、警察等の関係機関が、連携して対応する体制づくりに取り組む。

Q 新型コロナウイルス感染症対策に係る妊産婦の支援について

A こども未来局長

出産が近づいた妊婦がPCR検査を希望する場合に、その費用を助成し、出産時の不安解消に取り組み、妊産婦に寄り添った支援を行っていく。

Q 国際教育研究拠点について、今後の対応は

A 内堀知事

市町村の意向をこの秋に聴いた上で、本構想の効果を最大化することができる立地場所を提案し、この拠点を浜通り地域再生の新たなエンジンとして、世界に誇れる福島の復興・創生を目指す。

## 新型コロナウイルス感染症対策

福島県の予算累計額 **947億円**

県民のみなさまのご協力のもと、感染拡大が抑えられておりますが、落ち込んだ県内経済や雇用の回復を図るため関係機関と連携しきめ細かな支援を行ってまいります。

【6月補正予算の主な内容】

- 医療従事者等への慰労金や手当金の支給(103億411万円)
- 入院病床の確保(58億2,821万円)
- ふくしま応援スタンプラリー事業(15億1,383万円)
- 観光周宿泊支援対策事業(6億6,904万円)
- サプライチェーンの強化支援(1億円)
- 肉用牛経営支援事業(2億円)
- 遠隔学習等に向けたICT教育環境の整備(2億5,329万円)

感染拡大防止のため「新しい生活様式」の実践をお願いします。

 人との間隔はできるだけ2m空ける	 手洗いは30秒程度水と石鹸で丁寧に	 会話をする時はマスクを着用	 毎朝の健康チェック
 定期的な換気	 感染が流行している地域への移動は控える	 買い物は1人で空いた時間へ	 運動は空いた時間と場所を選ぶ

## 自民党議員会の活動

### 受動喫煙防止に関する勉強会を開催

6月17日、受動喫煙防止等条例制定に関するプロジェクトチームの勉強会を開催しました。福島県立医科大学の後藤あや教授による「次世代育成としての受動喫煙防止」と、JTにおける分煙環境の整備や受動喫煙対策への取組について講演をいただきました。今後、勉強会の内容や、関係団体等の意見を踏まえ、条例案の作成に取り組んでまいります。

